

## 令和7年度

大阪大学大学院人文学研究科言語文化学専攻

# 科目等履修生出願要項

### ○はじめに

令和7年度入学者を対象とする人文学研究科の科目等履修生の出願要項は専攻ごとに異なります。この出願要項は、人文学研究科言語文化学専攻で開講される授業科目と研究科共通科目のうちデジタルヒューマニティーズ関連科目の科目等履修生に出願するための要項です。言語文化学専攻以外の人文学研究科各専攻等で開講される授業科目の科目等履修生に出願を希望される場合は、各専攻の出願要項を参照してください。また、科目等履修生高度プログラム「デジタルヒューマニティーズ」に出願を希望される場合は、該当プログラムの出願要項を参照してください。

(注) 言語文化学専攻の科目等履修生のほか、人文学研究科他専攻の科目等履修生や科目等履修生高度プログラム「デジタルヒューマニティーズ」にも併願を希望される場合は、事前に必ず豊中事務部学務係へご連絡ください。

### 1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学士の学位を有する者
- (2) 本研究科において大学卒業以上の学力があると認められた者

#### 【出願資格審査】

上記の出願資格(2)により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行う必要がありますので、「4. 出願手続」に記載するア、イ)の書類及び大学卒業以上の学力に係る資料がある場合はその資料を令和7年1月14日(火)～1月16日(木)までに豊中事務部学務係へ郵送または持参してください。

なお、郵送の場合は、封筒に「科目等履修生出願資格事前審査書類在中」と朱書きし、書留郵便で郵送してください。

審査の結果は、令和7年2月6日(木)までにメールでお知らせします。

審査の結果、出願資格を有していると認められた場合は、出願書類を受理しますので、出願書類受理期間内に他の出願書類(ウ)～オ)を提出してください。

### 2. 入学時期及び在学期間

入学時期は原則として年度の始めとします。また、在学期間は履修する授業科目所定の授業期間とします。

### 3. 履修を希望できる科目の範囲と制限

言語文化学専攻の科目等履修生を希望することができる者は、別紙の「博士前期課程授業科目一覧」の中で、春～夏学期開講科目から5科目以内、秋～冬学期開講科目から5科目以内を選んで履修し、単位を修得しようとする者に限ります。

なお、人文学研究科他専攻の科目等履修生の出願(併願)を希望する場合は、言語文化学専攻の授業科目も含め人文学研究科の授業科目全体の中から10科目又は12単位を超えない範囲で、単位を修得しようとする者に限ります。

### 4. 出願手続

豊中事務部学務係に下記の出願書類等を郵送または持参してください。

なお、郵送の場合は、封筒に「科目等履修生入学願書在中」と朱書きし、書留郵便で郵送してください。

## 【出願書類受理期間】

令和7年2月10日（月）～2月13日（木）【必着】

ただし、持参の場合は11日（火・祝日）を除きます。

（持参の場合の受付時間 9時～11時30分、13時～16時）

## 【出願書類等】

ア) 入学願書（本専攻所定様式・写真添付）

イ) 最終学校の卒業又は修了（見込）証明書及び成績証明書

ウ) 外国語能力に関する検定試験の成績証明書等を所持している場合はその証明書（写）

（例）TOEFL、IELTS、TOEIC など（履修希望科目により任意とし英語に限らない。）

※口述試験の参考資料とするものであり、未所持の場合は提出する必要ありません。

エ) 受験票送付等事務連絡用封筒（定形封筒に宛先明記の上、110円切手を貼付のこと。）

オ) 検定料及び振込方法

①検定料 9,800円

②振込期間 令和7年2月3日（月）～2月13日（木）

③振込方法 本専攻所定の振込依頼書の※欄に、志願者本人の住所・氏名及び電話番号を記入のうえ、金融機関（ゆうちょ銀行を除く）の受付窓口で上記①の検定料を振り込んでください。（ATMは不可。必ず受付窓口で振り込んでください。）

④振込手数料は志願者の負担とします。

⑤検定料納入証明書を「検定料納入証明書貼付用紙」に貼付してください。

## 5. 選考方法

提出書類及び口述試験により選考を行います。

なお、口述試験では、履修を希望する授業科目に応じて、専門的知識等の学力及び外国語能力の確認を含む個人面接を行います。

## 6. 口述試験期日

試験日時 令和7年3月5日（水）10:00～

試験場所 大阪大学豊中キャンパス

（詳細は2月下旬に送付する受験票とともに郵送によりお知らせします。）

## 7. 合格者発表及び入学手続

選考の結果は、令和7年3月13日（木）にメールでお知らせします。

（3月14日（金）16時になっても通知が届かない場合は連絡願います。）

なお、入学手続に必要な事項はその際に通知します。

入学手続期間（予定） 3月14日（金）～18日（火）

## 8. 入学料及び授業料の額

入学料 28,200円

授業料 1単位 14,400円

## 9. 個人情報の取り扱いについて

(1) 出願時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。なお、合格者については、合格者発表日以降、「入学料収納」等の業務を行うためにも利用します。また、入学者については、「教務関係（学籍管理、履修指導等）」、「学生支援関係（健康管理等）」及び「授業料収納」等の業務を行うためにも利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学選抜方法の調査・研究のために利用することがあります。

(3) 上記(1)及び(2)の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。

ります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出していただいた個人情報の全部または一部を提供します。

#### 10. 注意事項

- (1) 入学願書には履修したいすべての科目（春～夏学期開講分／秋～冬学期開講分のすべて）を記入してください。
- (2) 出願手続後は、出願事項の変更を認めません。
- (3) 授業時間割等に変更されることがあります。
- (4) 履修を許可された授業科目は、原則として変更できません。
- (5) 既納の検定料は次の場合を除き返還しません。
  - ① 出願したが出願資格がなかった場合
  - ② 出願書類受理期限後に書類が本専攻に到着した場合
  - ③ 出願書類に不備があり受付できなかった場合
  - ④ 検定料を振り込んだが本専攻に出願しなかった場合
  - ⑤ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- (6) 「通学証明書」、「学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）」は発行できません。
- (7) 本学図書館の利用については、本学図書館のホームページを参照してください。  
<https://www.library.osaka-u.ac.jp>
- (8) 科目等履修生になられても留学ビザの申請はできません。
- (9) 大学院人文学研究科博士前期課程に入学した際に、科目等履修生として修得した科目の単位については、審査を経て、大学院の修了単位として認めることがあります。
- (10) その他不明な点については豊中事務部学務係へ問い合わせてください。

#### ○連絡先

担当係	大阪大学人文学研究科豊中事務部学務係（人文学研究科言語文化棟B棟1階）
所在地	〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-8
電話	06-6850-5856（直通）
E-mail	jibun-gakumu@office.osaka-u.ac.jp
交通	[電車] 阪急電車宝塚線石橋阪大前駅下車 徒歩約15分 [モルル] 大阪モノレール柴原阪大前駅下車 徒歩約15分
ホームページ	人文学研究科言語文化学専攻 <a href="https://lc.hmt.osaka-u.ac.jp/">https://lc.hmt.osaka-u.ac.jp/</a>

## 人文学研究科言語文化学専攻科目等履修生出願対象 博士前期課程授業科目一覧

科目区分	授業科目名	単位	履修可否
人文学研究科共通科目 (言語文化学専攻提供科目)	言語特別演習A・B (英語)	A、B各2単位	不可
	言語特別演習A・B (フランス語)	A、B各2単位	不可
	言語特別演習A・B (ドイツ語)	A、B各2単位	不可
言語文化学専攻科目	研究実践基礎	1単位	不可
	研究発表演習	1単位	不可
	言語特別演習A・B (日本語)	A、B各2単位	不可
言語文化学専攻科目  ※Aは春～夏学期開講 ※Bは秋～冬学期開講	超領域文化論A・B	A、B各2単位	可
	ジェンダー論A・B	A、B各2単位	可
	グローバリゼーション論A・B	A、B各2単位	可
	言語文化共生論A・B	A、B各2単位	可
	言語文化形成論A・B	A、B各2単位	可
	表象文化論A・B	A、B各2単位	可
	言語文化比較交流論A・B	A、B各2単位	可
	翻訳研究A・B	A、B各2単位	可
	コミュニケーション論A・B	A、B各2単位	可
	語用論研究A・B	A、B各2単位	可
	言語技術研究A・B	A、B各2単位	可
	社会言語学研究A・B	A、B各2単位	可
	応用言語学研究A・B	A、B各2単位	可
	第二言語研究法A・B	A、B各2単位	可
	第二言語教育方法論A・B	A、B各2単位	可
	第二言語教育実践研究A・B	A、B各2単位	可
	第二言語社会・文化研究A・B	A、B各2単位	可
	理論言語学A・B	A、B各2単位	可
	心理言語学A・B	A、B各2単位	可
	史的言語研究A・B	A、B各2単位	可
	言語統計学A・B	A、B各2単位	可
	デジタルヒューマニティーズA・B	A、B各2単位	可
	言語認知科学論A・B	A、B各2単位	可
	認知言語学研究A・B	A、B各2単位	可
	認知意味理論研究A・B	A、B各2単位	可
	認知レトリック論研究A・B	A、B各2単位	可

※人文学研究科言語文化学専攻の科目等履修生として出願対象となる授業科目は、上記の博士前期課程の授業科目一覧のうち科目等履修生の履修が認められている授業科目（「履修可否」欄が「可」となっている授業科目）となります。博士後期課程の授業科目は出願対象としていません。履修希望は上記の授業科目一覧から選択してください。

※上記授業科目の授業開講期間及び開講曜日時限等は、令和7年2月初旬までに人文学研究科言語文化学専攻ホームページで公表する予定の令和7年度学年暦、令和7年度時間割表を参照してください。なお、上記の授業科目は、この出願要項公表時点において開講予定ですが、急きょ諸事情により、不開講となることがあります。

○言語文化学専攻ホームページ（学年暦・時間割等） <https://lc.hmt.osaka-u.ac.jp/student/calendar.html>

※上記授業科目の授業内容は、言語文化学専攻ホームページを参照してください。なお、令和7年度開講科目のシラバスは2月上中旬頃に公開を予定していますが、シラバスの整備状況によっては出願期限までの公開を保証することができません。そのため、もし、出願期限までにシラバスが公開されていない場合は、令和6年度開講科目のシラバスを参考としてください。授業の目的と概要は、令和6年度開講科目のシラバスから大きく変更されることはありません。

○言語文化学専攻ホームページ（シラバス） <https://lc.hmt.osaka-u.ac.jp/education/syllabus.html>